

## 平成30年度第2回東海市地域公共交通会議 会議録

- 会議の名称 平成30年度第2回東海市地域公共交通会議
- 開催日時 平成30年10月17日（水）午前10時から午前11時30分まで
- 開催場所 東海市役所 302会議室（3階）
- 出席委員 佐治錦三（会長）、渡邊元芳（副会長）、嶋田喜昭（議長）、勝田厚秀、天野朝之、藤田重記、大脇美一、小野偉稔、服部政春、小林治代、多田哲也、大里美栄子、百田勇次、秋山和子、森岡俊一、堀口美喜雄、久野文則、杉本忠久、盛林克浩、富田弘敏、小林睦夫、榊原 仁、花田勝重
- 欠席委員 江尾国博、小林裕之
- 事務局 総務部長、総務部次長、交通防犯課長、同統括主任、同主任、同主事
- 傍聴者の数 2人
- 議題及び審議の概要
  - 1 開会のことば
  - 2 会長あいさつ  
（会長）

東海市は来年度市制50周年を迎える。50周年を振り返るとともに、これからの50年を踏まえて、まちづくりを進めていくスタートにしたいと考えている。そうした中で、来年5月に記念式典を開催することとなった。その他にも様々な事業を予定している。また記念ロゴも作成したので各種団体に活用いただければと思う。

前回の議論にあった、循環バスに関するアンケートを実施した。この意見を基に、今後の循環バスのあり方、また市内全体の公共交通について皆さんの積極的な意見をいただき、会議を充実させていきたいと考えている。
  - 3 報告事項
    - (1) 前回の会議録の確認について
    - (2) 循環バスの利用状況等について

事務局による資料1及び資料2について説明

(委員)

資料2-2の補足として説明をさせていただくと、運賃収入以外に、地域間幹線系統として国庫補助を受けているが、大幅な赤字となっている。このままでは路線の維持は非常に困難である。廃線となると、幹線のフィーダー系統となっているらんらんバスの補助金もなくなってしまう、事業者だけの問題ではなくなってくる。色々な施策を行っていただいているが、利用低下が続いている。

(会長)

らんらんバスの地域内フィーダー系統としての補助金額はどの程度か。

(事務局)

平成30年度の申請額は7,156,000円である。

(委員)

地域間幹線系統の利用促進を事業者任せではなく、行政や地域公共交通会議の中で検討いただけたらと思う。

(委員)

事業者が身を削って成り立っている部分もあるので、補助金が事業者へ配分されるような仕組みを考えてもらいたい。

(委員)

他市では幹線である民間路線バスを補完するようにコミュニティバスを走らせている。乗換えが発生するため、利用者の不自由さは否めないが、官民一体となってバス路線網を構築している。東海市に置き換えると、民間路線バスとコミュニティバスの路線が重複している箇所もあり、そういった箇所は路線バスの運行本数を減らすことになってしまっている。

### (3) 意見聴取の中間報告について

事務局による資料3の説明

(委員)

船島地区のバス環境改善とは、どのような意見が挙げられているのか。

(事務局)

乗降時に、つまずくおそれがあるのでバス停付近の縁石を取り除いてもらい

たいといった意見である。

(委員)

どの程度の件数が意見として寄せられたのか。資料では割合で示されているが、回答数が少なければ、少数意見でも割合が高くなってしまうので、その辺りはどうか。

(事務局)

市全体として、614件の意見をいただいた。150件を超える意見をいただいた地区もあれば、20件未満の地区もあった。全体として見れば少数意見でも、特定の地域の中では大きな割合となっているところもある。

(委員)

地域によっては老人会や子ども会など、会合の組織を利用して回答を集めたため、回覧板だけの地域よりも多くの意見が集まっているはずである。しかし、集まった意見も地域特性を加味しなければ、あくまで希望であり実行性がないものではないか。

(議長)

回答者の多くは実際の利用者なのか。

(事務局)

回覧板を用いたアンケートのため、利用者属性までは把握できていない。中にはアンケート文中に利用の有無を記載していただいている意見もある。

(議長)

その他意見とは、どのようなものがあつたのか。

(事務局)

ICカードの導入要望や時刻表の再配布、ネット環境を用いたバスの位置情報システムの構築を望むといった意見が主なものである。

(委員)

自分がよく耳にする意見とアンケート結果に隔たりがあり、意外であった。また、乗り継ぎへの抵抗が強いことも、ここまで意見があるとは思わなかった。

(議長)

乗換案内サイトへの登録状況はどうか。

(事務局)

主立った乗換案内サイトへは登録済である。

(委員)

情報のデジタル化も必要だが、高齢者が多く利用している状況も踏まえ、アナログ媒体も残していく必要があるのではないか。

#### 4 協議事項

##### (1) 平成31年度市のイベント時の循環バスの無料運行について

事務局による資料4の説明

(委員)

無料運行を実施する場合は、30日前までに運輸局への届け出が必要となる。

(委員)

資料に記載のイベント以外に、50周年と絡めたイベントでは無料運行を行わないのか。

(会長)

50周年事業が全て確定していないので、必要があれば再度諮らせていただけたらと考えている。

<議長による承認採決>

(一同)

承認

##### (2) 東海市地域公共交通網形成計画の推進について

事務局による資料5から7の説明

(委員)

バスギャラリーの実施が中ルートだけであるが、他のルートで行う予定はないのか

(事務局)

車両サイズの関係で、中ルート以外での実施は困難である。

(委員)

朝の時間帯で、太田川駅のタクシー待ちが多く発生しているが、台数を増やせないか。

(委員)

運転手不足が大きな要因である。それにより予約利用が多くなっており、なかなか駅まで手が回らないのが現状である。

＜議長による承認採決＞

(一同)

承認

## 5 その他

事務局より大府市バス運行協議会について報告

愛知県振興部交通対策課よりエコモビ関係の告知

## 6 閉会のことば